

## 地域ぐるみで子育てを応援しませんか？

2013年2月6日

高島市教育委員会事務局 社会教育課

「地域ぐるみの子育て」をすすめるため、地域教育力向上講座「にこにこすくすく孫育て講座」を開催しました。お家でお孫さんとの楽しい時間を過ごすために、おやつづくりや似顔絵、ジグソーパズルづくりなどの実習や、今と昔の子育ての違いを聞いて、祖父母の役割や地域の子育て支援をどうしていけばよいかなどについて学んでいただきました。

参加いただいた皆さんには、講座で学んだことを生かして、ご家庭はもちろんのこと、“地域のおじいちゃん・おばあちゃん”としてご活躍いただけることを期待しています。

市では、今後も地域の人材育成につながる講座を開催し、講座に参加された皆さん、地域家庭教育アドバイザーや地域で子育て支援にご協力いただける方や団体などにご参加いただき、『家庭教育支援チーム』をつくりたいと考えています。

ぜひ、みなさんのご協力をお願いします。

### 全8回の内容はこちらです！ ↓ ↓ ↓

【期間】 平成24年11月21日（水）～平成25年1月23日（水）

【場所】 安曇川公民館

- 【内容】
- 第1回 孫育てと地域参画
  - 第2回 おやつづくり
  - 第3回 服装・着こなし術
  - 第4回 似顔絵描き
  - 第5回 スマートフォンの使い方と危険性
  - 第6回 絵本の読み語り
  - 第7回 遊びと子どもの育ち
  - 第8回 子育て事情と祖父母の役割

### 【各回の様子】

#### ☆第8回 「祖父母のための子育て今昔物語」 1月23日（水）開催

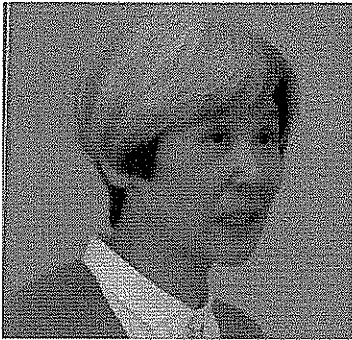
講師は、NPO 法人エガリテ大手前 理事の三浦優子さん。

エガリテ大手前は、高校時代の同窓生で立ち上げられたNPOで、三浦さんは、第1回の講師 古久保俊嗣さんと共に活動されています。60歳近くなり、ゆっくりと考えられるようになった今だからこそ、世の中の役に立てることがある、次の世代に残せるものがある、と考えて動き始められたそうです。

エガリテ大手前が行う「ソフリエ講座」について、「講座に参加したおじいちゃんの意識に、変化があればいい。子育て事情を知った上で、孫育てにかかわるきっかけとなることを目指したい。」とその思いをお話しくださいました。

三浦さんは、長男と生まれたばかりの二男の子育てを、イタリアで経験されました。その時、同じマンションや近所に住むおばあちゃんたちに、料理を教えてもらったり、子どもの面倒を見てもらったり

されたそうです。日本でも、隣の奥さんに子育てを助けてもらうなど、「地域の人に支えられて子育てができたんだと思う。」とお話しされました。



(講師の三浦優子さん)

今の子育て環境については、「人口学的にみて、1975年ごろから、少子化が進み、見守る大人は増えているはず・・・なのに、世帯の中で、子ども一人に対する大人は減っている。それと同時に、育児不安やノイローゼなどが増えている。子育てが見えにくくなっている。子育て中のお父さん、お母さんと、それ以外の多くの大人をつないでいく意識的な努力が必要ではないか。」と指摘されました。

続いて、「乳幼児の体の発育と発達」、「栄養」、「病気とそのケア」、「赤ちゃんの日々の生活」、「心の発達」の5つの項目について、今の育児の考え方とケアを詳しくお話しされ、参加者は、メモを取りながら、熱心に講師の話を聞いていました。

沐浴実習では、赤ちゃん人形やベビーバスを使って、赤ちゃんの顔や体の洗い方、おむつの付け方、服の着せ方など、手順やコツを教えていただきました。

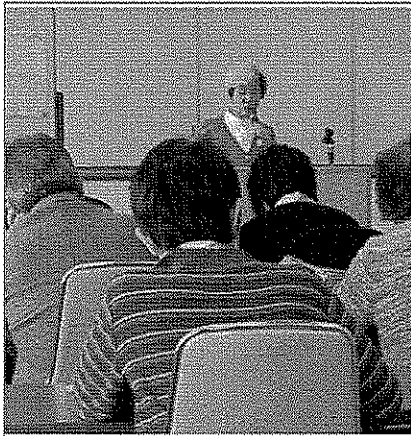
講義のまとめに、「今と昔で大きく変わってきたことが二つある。一つは、1960年代頃から、『赤ちゃん学』の研究が進み、赤ちゃんは生きる能力を生まれながらにして持っていることが分かってきた。もう一つは、赤ちゃんを取り巻く環境の変化である。テレビや携帯電話が普及し、家族で話す時間が少なくなった。大人は、技術の革新が、将来を担う子どもたちに与える影響を考慮する必要がある。」と話されました。

最後に、参加者4、5人でグループをつくり、「50年前(子どもの頃)」、「25年前(子育てをしていた頃)」、「今」の子育てや家庭、地域について話し合いながら、メモに書き出していました。

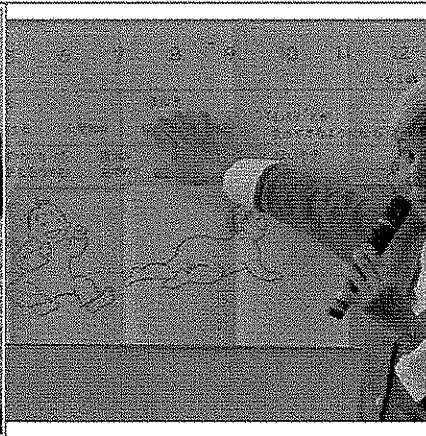
三浦さんは、「子どもの頃はおばあちゃんがお手玉をつくってくれた。今は、トマトの苗などをつくって、近所の子どもたちが持って帰れるようにするなど、子どもたちとかかわるきっかけとしている」と話されました。

参加者の「50年前」「25年前」は、「近所のおばあさんたちの話の輪に入っていた」、「自分の子育ては、祖父母に任せきりだった」など、子どもと、親と、地域のかかわりが見えました。

「今」については、すでに「地域のおじいちゃん・おばあちゃん」として行動されている方があり、「近所の子に“お帰り”の声かけをしている」、「庭を遊び場として開放している」など、みなさんの日頃の取り組みを知ることができました。



いよいよ最終回！三浦さんのお話を聞いて、参加者は、熱心にメモをとっていました。



三浦さんは、「機械が苦手で・・・」と言われ、手書きの資料が使われました。赤ちゃんのイラストも手書きでした。



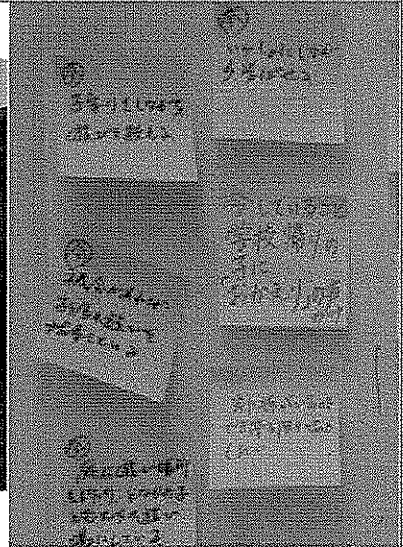
赤ちゃん人形を使って、沐浴の手順やコツを教えていただきました。



グループワークで、子どもの頃の思い出や、今の子育てで感じることなどを書き出しました。



参加者は、おしゃべりを楽しみながら、グループでの作業を進めていました。



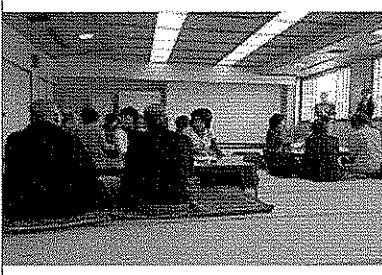



参加者が、今、お孫さんや地域の子どもたちのために取り組んでおられることを書いたメモです。

☆第7回 「めざせ！ 遊びの達人」 1月16日（水）開催

講師は、環境レイカーズ 代表の“しまっち”こと、島川 武治さん。

環境レイカーズは、環境学習・環境活動の支援や、子どもの自然体験活動等に取り組んでおられる団体で、近江八幡市に事務所があります。毎年、夏と冬に、高島市今津にある棕川山の子学園キャンプ場や旧棕川分校などを利用して、小中学生を対象としたキャンプ活動を行っておられます。

受講者からは、「説明を聞いて、おやつの意味がわかった。」、「手軽に作れておいしいし、材料がわかっているので安心できる。」、「出来上がりの味は、想像もつかなかったが、大変美味しかった。これなら孫も喜ぶだろう。」などの感想が寄せられました。

		
<p>第2回おやつづくりは、男性の受講者が3人おられました。</p>	<p>第2回の講師 長瀬 千恵美さん。市健康推進課の管理栄養士です。</p>	<p>講師から、食が育む5つの能力についてお話を聞きました。</p>
		
<p>女性陣は、慣れた手つきで、てきぱきと作業を進めていました。</p>	<p>男性陣は、一致団結、協力しておやつづくりに取り組んでいました。</p>	<p>手前が、さつまいものガレット、奥が、蒸しカップケーキです。簡単で、おいしいおやつができました。</p>

#### ☆第1回 カッコイイじいじ カワイイばあばになろう！ 11月21日（水）開催

孫育て講座が開講しました。1月23日まで、全8回開催します。

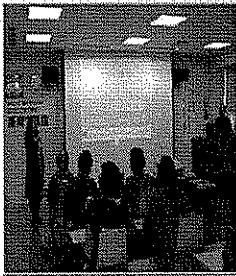
第1回の講師は、NPO法人エガリテ大手前 代表 古久保 俊嗣さん。古久保さんは、祖父のための孫育て技能資格「ソフリエ」を主宰されている方です。

なぜ、今、子育てに祖父母世代の支援が必要なのかについて、子ども世帯の家計や、家庭の姿、イクメン・イクジイなど様々な角度から講義されました。

子育て世代が、夫婦とも正規雇用で働き続けられるのが望ましく、祖父母や家族は、共稼ぎをサポートすることが必要である、と話されました。

後半は、グループ内で自己紹介をし、その後、他のグループの方に他己紹介をしました。

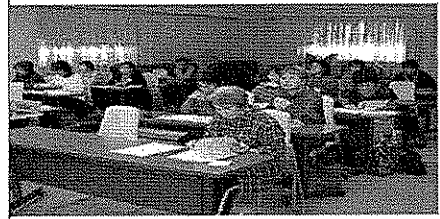
受講者からは、「現在、4世代同居で、息子達を助けたいと強く思うようになった。」、「今日参集した人たちで、もっと地域の子どもたちにかかわり、親御さんの不安が少しでも少なくなればいいと思う。」、「家庭のカッコイイじいじから、地域のカッコイイじいじになる場をどう作るか、どう参加するかが大切である。」、「他己紹介で、参加者の様子がわかった。」といった感想が寄せられました。



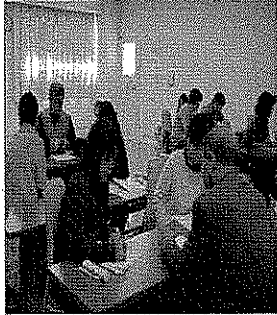
孫育て講座全8回の開講です。



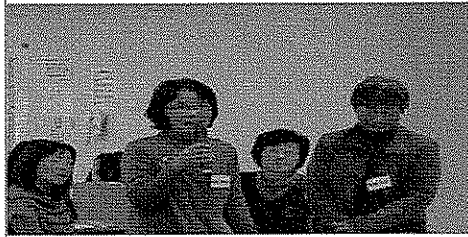
第1回の講師 古久保 俊嗣さん。着物姿で、お話しいただきました。



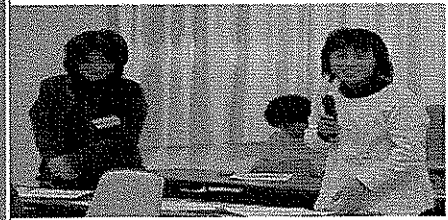
受講者は、お孫さんがいる方や、まだこれからという方などいろいろです。



後半は、グループになって、お互い自己紹介をしました。



同じグループの人を、一人ひとりが“他己紹介”しました。



他己紹介の時間は、皆さん笑顔で話され、和やかな雰囲気でした。